

◆企画名	他大学図書館訪問
日程	平成25年8月7日(水)
場所	立命館大学衣笠キャンパス衣笠図書館
参加者数	11名(ピア・サポータ1名、研修生8名、職員2名)
目的	

立命館大学図書館を見学し、図書館学生スタッフの取り組みを知る事により、KU コアラの今後の活動に活かす。

#### 内 容

- ・図書館内ラーニングコモンズ「ぴあら」にて学生ライブラリースタッフが一般学生向けに行っている図書館ガイダンス「検索講座A」を受講。立命館大学・立命館アジア太平洋大学にある全ての図書館・閲覧室の図書を横断検索できる立命館大学特有の図書検索システム「RUNNERS」や全国の大学図書館等の蔵書検索システム「CiNii Books」を用いた図書検索方法を教えてもらった。
- ・図書館内を学生ライブラリースタッフに案内してもらいながら学生ライブラリースタッフの業務内容・衣笠図書館の図書の開架状況や書庫にある図書の閲覧方法等について説明を受けた。
- ・図書館内ラーニングコモンズ「ぴあら」について説明を受けた。
- ・会議室にて立命館大学職員も交えてお互いの業務・企画について意見交換を行った。

#### 感 想

図書館における立命館大学ライブラリースタッフの役割は図書館の業務に従事することを中心としており、主に企画の立ち上げ・運営を行うKU コアラとは根本的に存在意義が異なる部分があったものの、学ぶべき点は大いにあった。その例を以下に挙げる。

- ① 10 倍の倍率の選考をくぐり抜けただけあって、学生ライブラリースタッフの図書館業務に対する意欲がかなり高い。
- ② 新人研修が早期にあり、またその数も15コマ(1コマ90分)と多く、新人が早く仕事を覚えられるよう工夫されている。
- ③ 具体的なマニュアルがあり、新人研修や日々の業務を全て学生ライブラリースタッフ内で行う事ができる。
- ④ ビラ作成等に必要なパソコンソフトの使い方もマニュアルによって共有されているため、全員ある程度は使えるようになっている。
- ⑤ ラーニングコモンズとして成功を収めている立命館大学の「ぴあら」を見学できたのは、コラボレーションコモンズ内にピア・エリアをかまえているピア・コミュニティとして良かった。
- ⑥ この企画をきっかけにして、これからも外に出て行く企画を立ち上げていこうという意欲が高まった。

#### 改 善 点

- ・相手方との連絡がスムーズにできなかった。双方の学生・職員が、逐次、情報を共有できるよう、連絡方法を見直す。
- ・企画始動・進捗がともに遅かった。ボランティアセンター、図書館事務室職員、ピア・コミュニティの仲間に多大な迷惑をかけてしまったので、今後はもっと素早く企画進行を行う。
- ・今回の企画では交通費を申請し、ピア・コミュニティ全体の予算から交通費を計上してもらった。今後は、企画で得られる情報が他コミュニティに還元できるものかどうかをよく考え、支援部署と相談の上、予算申請を検討することとしたい。